



第432号

2023年 3月

〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 news@nagoya.catholic.jp
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

「神からの賜物(A G I F T)を感謝し、新しい時代へ」

2022 2.13
2023 5.28

聖霊降臨の主日

教区設立 100周年

教区ホームページ

福音のひびき

3月の説教者

5日 四旬節第2主日
トラン・ナム・フォン (南山教会)

12日 四旬節第3主日
大川 好洋 (長浦教会)

19日 四旬節第4主日
フィラデルフィ・バヴォール (南山教会)

26日 四旬節第5主日
ジョセフ・ジヨ・コラピッル (神言会・新助祭)

主のいつくしみと

両親の愛に感謝

新成人と共に 新年の集い

歴史見つめ平和築こう

「新成人と共に祝う教区新年の集い」が1月22日、布池教会大聖堂で行われ、松浦悟郎司教と司祭たちの共同司式するミサと新成人の祝福式に、およそ90人が集まった。

「新成人たちは「こまで守られ成長させてくださった主の慈しみと両親の愛に感謝し、今後は心と力と思いを尽くして、主のお望みになる人格形成と社会への奉仕に励んでいきたい」と抱負を語った。

松浦司教は説教でまず、新年を迎える瞬間の過ごし方についてしみじみと話した。

「子供の頃から、除夜の鐘の音を聞きながら、その一年間の一つひとつのことを思い出し、そして、いつも私と一緒に歩み、私に働きかけてくださった方に思いをはせ、感謝してきた」

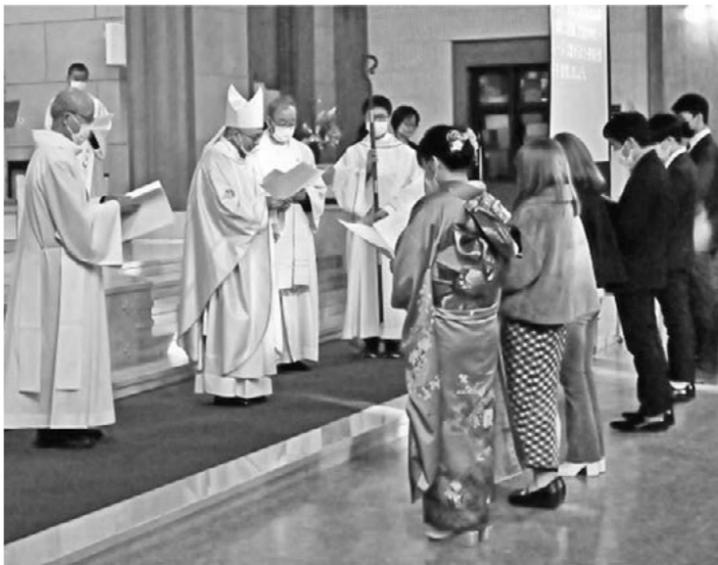
また、大晦日のもう一つの恒例であるベートー

ベンの交響曲第九番「歓喜の歌」についての逸話を紹介。

第2次世界大戦のさなかの1943年、学徒出陣の壮行会で、第九を演奏して大学生を戦場に送り出した。戦地に向かい、戦死した学生たちの多くは帰らぬ人となったが、戦後、生還した学生たちによって12月に追悼演奏会が開かれた。

「あなたの不思議な力が再び結びつける、時の流れが厳しく引き裂いたものを。あなたの優しい翼に抱かれて、すべての民は兄弟姉妹となる」

松浦司教は神に向かつて歌われる第九の歌詞から言葉を引き、「あなたのやさしい翼の下で、すべての民は一つになる」と述べた。それは聖霊の働きによって過去の歴史を正しく受け止め、乗り越えて、共に平和を築いていこうとの呼びかけだった。



WYD リスボンに行こう 「神の望みに従って歩めるように」 青年委員会主催の集い

教区青年委員会主催で新成人と青年たちが交わりを深める「新成人のつどい」が、教区新年の集いの後、教区センターに場所を移して行われた。

前回は2019年の中米パナマ大会に参加した若者が、映像と共にその体験を紹介。神様と一対一で向き合えたこと、人と人とのふれあいのすばらしさを体験し、充実した2週間の滞在について熱く語り、新成人たちに参加を呼びかけられた。

片岡神父からはリスボン大会のさらに詳しい説明があった。2月下旬には日本の教会で組織する参加ツアーの募集案内が配布されること、時期が心がつき解放され

たところで、話題はこの夏、7月25日から8月6日にかけてポルトガル・リスボンで開かれるワールドユースデーのことへ。

四旬節教皇メッセージ それは私たちへの課題

教皇フランシスコは1月25日、今年の四旬節メッセージを発表した。タイトルは「四旬節の苦行とシノドスの旅」(編集部訳)。

毎年、四旬節第4主日に朗読される主の変容の場面を取り上げ、私たちが復活の栄光にあずかるための四旬節の苦行をそこからすくい上げ、勧めると同時にそれは教会のシノドス的(シノドスとも困難な状況にある人々と共に歩む)歩みと同じと

メッセージ後半には教皇からの二つの提案がある。一つは、イエスの言葉すなわち典礼で聴く神の言葉に耳を傾けること。ミサに参加しなくても毎日の聖書朗読を学ぶこと。

さらに言えば、主は聖書に加えて、困難にある人々の声を通して語りかけてくる。その声に耳を傾けることこそ、シノドスの歩みだ。

では教皇の二番目の提案とは何か。それは各自で読むこと。それも四旬節のわざでしょう。

トルコ南東部地震救援募金 受付開始

カリタスジャパンが「トルコ南東部地震救援」募金の受付を開始した。

トルコ南東部とシリアで2月6日に発生した大地震によって、現地は壊滅的な状況に陥っている。両国では4万6千人を超える死亡が報じられており(2月22日現在)、今後も増えるものとみられている。

カリタスジャパンは「トルコ南東部地震救援」募金を受け付けることを決定した。寄せられた募金は、被災地域で行われる救援活動のために活用される。

募金受付口座は次のとおり。

郵便振替：00170-5-95979
 加入者名：宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン

*記入欄に「トルコ地震」と明記してください。

詳しくは、カトリック中央協議会ホームページをご覧ください。

えいごで聖句ドリル

I am the (ア) and the (イ).
 わたしは復活であり、命である。(ヨハネ11・25)

Q. ア、イに入るのは次のうちどれ?

- ① resurrection ② revival ③ rebirth
- ④ light ⑤ life ⑥ love

英語は「New American Bible」から、日本語は「聖書 新共同訳」からです。

集いを大切に

南山・信者会館「ナザレ館」



南山教会の新しい信者会館「ナザレ館」の竣工式が1月22日に行われた。大聖堂での松浦司教司式のミサにひきつづき、ナザレ館前の広場に記念式典が行われた。

ミサの説教では、一人一人が「神様の光を反射し輝く者」になることが

世界とのつながりと、松浦司教から教えられた。

3年前、パウロ神父が主任司教として南山教会に赴任されたのは緊急事態宣言の渦中で、ミサやすべての会合、行事は中止となっていた。

そのような状態でもパウロ神父は、一日でも早く信徒と会って話をしたいとの意向を持ち、各委員会やグループの代表者、一般信徒の方々と個

別に話をする機会を持つようになった。建設計画が進められた。

小教区のさまざまな立場の人々の意見を聴き、信者が集うことの大切さを考え、特に子どもたちが信仰を育む場としての信者会館「ナザレ館」の建築を提案された。

その提案に運営委員会(現小教区宣教科評議会)が同意し、信者全体集会にて説明が行われ、南山小教区信者総意のもとで、パウロ主任司教と

営繕委員長の丸尾氏が中心となって建設計画が進められた。

そしてこの日、3年の月日を経てようやく竣工式を迎えることができた。ナザレ館に集う小教区の家族から「神様の光を反射し輝く者」が多く集立つことを祈りつつ、竣工式を行うことができた。

(南山教会信徒代表 森直樹)

神の渴きをいやす 無限の愛にふれて

神の愛の宣教者会



「私は渴く」(ヨハネ19・28)。イエスが渴いている。それは水にかかれ、それとも愛にかかれ、それとも愛に。コルコタの聖テレサ(マザーテレサ)は神の愛の無限かつ腹わたを裂かれるほどの慈しみにあふれ、抑えてもまた込み上げてくる「私は渴く」という神の愛を、1946年9月10日(インスピレーションデー)に体験しました。

そのことが私たち会員「神の渴きをいやす」という修道会創立の目的となり、48年彼女は口レット修道院を後にします。

貧しい人々の中で最も人たちに仕えながら、神の渴きを伝え、その渴きをいやすために、神の愛の宣教者会は50年10月7日に創立

されました。

マタイ25章に「私の兄弟であるこの最も小さいものの一人にしたのは私にしてくれたこと」とあります。私たちがふだん何気なく行うことに愛を込め、神の存在と自分の行動を意識することで、私たちは無限の愛である神にふれてその渴きをいやすことができるのです。

マザーテレサが81年に初めて日本を訪れ、白柳枢機卿の招きに依りて同年5月に3名の会員を日本へ派遣しました。翌年には、東京・潮見で未婚女性と胎児を保護するシェルターと奉仕活動が開始されました。

86年に相馬司教に招かれ、ここ名古屋教区にも修道院が開設され、未婚女性と胎児の保護シェルターと老人の昼食会の集まり、家庭や病者訪問、拘留所・刑務所の訪問などを行ってきました。

また、開設当時から名古屋駅のホームレスの方々におにぎりを配る奉仕活動が行われ、一時期

は300人から400人近い人におにぎりを配っていました。

92年には大分教区・別府市に、平山名誉司教から招かれて修道院が創立され、現在に至っています。

私たちの本部は、インドのコルコタにあり、現在も各国から老若男女のボランティアが訪れています。会員数は、活動会、観想会合わせて、約5,140名。他に活動会と観想会の男子修道会、司祭修道会、第三会、共済会などがあります。

新教会建設物語 (1)

稲沢教会・津島教会主任司祭 早川 努

名鉄津島線藤原駅からほど近い愛知県津島市寺前町に新聖堂建設を開始する定礎式(起工式)が昨年12月11日に行われた。2月26日には上棟式が予定されている。2019年1月に急逝した前主任司祭・谷上勝神父がこの土地を購入してからすでに5年が経過した。これまでの建設事業の歩みと現状を報告します。

おおよそ50年前にスカボロ宣教会のエドガー・H・ガイヤー神父の働きによって建てられた稲沢教会と津島教会が合併する形(正しくは、両小教区は廃止され新小教区が設立される)で、これまで

た。ちょうどその頃、名古屋教区では主に司祭評議会が、宣教のためのより有効な小教区の配置を考え、小教区の統廃合を検討している時期だった。そこで浮かび上がったのが、蟹江、弥富、津島、稲沢、押切を統合させる形での新教会構想だった。

谷上神父はその後、胃がんを患い、いったん土地探しは頭を離れたようだった。しかし、松浦司教が着座されると、17年に新教会建設案が再浮上。谷上神父は5、6カ所の土地を見て回った上で、18年夏、現在工事中の土地約30坪を購入するに至った。

ところがまもなく病状が悪化、入院を余儀なくされ、翌19年1月に逝去された。

土地には手を付けないうまま、しばらくの間が空くことになった。

後任者の早川努神父が赴任したのが6月末。建設活動が始まるのは翌20年1月まで待たなければならなかった。

稲沢教会と津島教会が合併する形(正しくは、両小教区は廃止され新小教区が設立される)で、これまで

た。ちょうどその頃、名古屋教区では主に司祭評議会が、宣教のためのより有効な小教区の配置を考え、小教区の統廃合を検討している時期だった。そこで浮かび上がったのが、蟹江、弥富、津島、稲沢、押切を統合させる形での新教会構想だった。

谷上神父はその後、胃がんを患い、いったん土地探しは頭を離れたようだった。しかし、松浦司教が着座されると、17年に新教会建設案が再浮上。谷上神父は5、6カ所の土地を見て回った上で、18年夏、現在工事中の土地約30坪を購入するに至った。

ところがまもなく病状が悪化、入院を余儀なくされ、翌19年1月に逝去された。

土地には手を付けないうまま、しばらくの間が空くことになった。

後任者の早川努神父が赴任したのが6月末。建設活動が始まるのは翌20年1月まで待たなければならなかった。

分はみんなと違う。でも誰にもそんなことは言えない。自分はおかしいのだろうか」と、人知れず苦しむその苦しみには、筆舌に尽くしがたいものがある。

こんなふうを受け止められるようになると、小学生の頃から対象にしていたクラスメイトが、本当に自分の性のことで悩んでいたとしたら、何と私は罪深いことをしたのだろうと思う。ある調査によると、LGBTの人の割合はおおよそ10人に一人くらいで、左利きの人と同じくらいだといふ。もしかすると私のクラスメイトも誰にも悩みを相談できないまま、自殺さえ考えて苦しんだかもしれないのだ。

本の監修者の平良さんは2018年正義と平和全国集会で名古屋に来て、LGBTの問題で布池で講演をしたゲイの牧師さんである。クリスチャンの当事者たちは、自分のことを誰にも話さず、一人で苦しんでいる。そしてさらにLGBTを罪悪視する教会の伝統の中でつらい目にあっている。その一方で理解者と出合い、そして、キリストとも出会うて救われている。

これから私たちの教会がどちらへ進むべきかを考える前に、まず、当事者たちの声に耳を傾けよう。

読んでみたい本

LGBTとキリスト教 20人のストーリー
平良愛香監修 日本キリスト教団出版局



小学生の頃、男子同士で仲よくしゃべり合っていたと、「ホーモ、ホーモ」と言っていたからだった。また、ふんわりと色白で、気が弱く物腰の柔らかな男子を「おとこおんなー、おとこおんなー」と冷やかした。私自身のことである。

最近ではテレビドラマでも「おっさんずラブ」主演の田中圭に上司役の吉田鋼太郎が恋をする物語とか「弟の夫」(小学生の娘と暮らすシングルファーザーの前に現れたカナダ人が死んだ弟のパートナー

で、三人で暮らすことになる物語)とか、同性愛の物語が作られているが、それらの作品を最初は嫌悪感に近い違和感を感じながら見ていた。若いころの私は、LGBTは病気であり、治療で治るものと思っていた。ところが、今ではWHOを含め、それは病気ではないとされている。昔の「性同一性障害」を今日では「性的違和」とか「性別不適合」と呼ぶ。

最近になってやっと私は、「神は人間を男と女に造られた」との聖書の言葉を真に受けて人間を二通りにしか見ないのは正しくないと考えられるようになってきた。

生物には雌雄同体といって、一つのからだにオスとメスの両方の機能を持っているものがある。魚の中にはオスからメスへ、あるいはメスからオスへと性転換する魚が30種類くらいいるらしい。さらに、ドミニカ共和国のある村では、女の子として生まれながら思春期になると生殖器が発達して男の子に変わる例が少なくないそうだ。生物としての人間に、まだ未解明の性の真実があってもおかしくはない。

自我が芽生え、思春期になったころ、自分の意思とは関係なくどうしても同性を好きになってしまいう、自分の性が受け入れられない、と気づき、「自

「be」存在そのものに価値がある

聖霊病院ホスピス講演会



藤井理恵牧師

「be」存在そのものに価値がある。その痛みとケアを自分の体験を通して話された。

第16回ホスピス聖霊講演会が1月28日、インターネットのライブ配信で行われた。講師は32年にわたって淀川キリスト教病院でチャプレン(施設付きの牧師・司祭)を務める藤井理恵牧師。

「人間は自己の存在beに危機的な状況が起こるとき、「なぜ?」その意味は?」などの問いかけが自分に差し迫ったものとして現れてくる、と藤井牧師は言う。

「それは人間存在の根底に関わる問いであり、「そこに存在beしているだけでは価値がない、何かをしていることdoにおいて価値がある」という評価の価値観に生きているから」と説明する。

「doでなければダメ」という誘惑にさらされているという。

迫害の理由はさまざま

人種・宗教・国籍・集団・意見など

共の会

名古屋教区難民移住移動者委員会が外国人相談窓口「共の会」として難民認定の支援をしていたアフリカ・ウガンダの女性が、5年間の苦勞を乗り越えて1月19日、やっと難民として認められた。彼女を支え続けてきた筆者はその報告を受けた。二人で涙を流して喜びあった。

ウガンダから迫害を逃れて来日した彼女は、名古屋の知人を通じて共の会に相談に来た。共の会では「特定非営利活動法人名古屋難民支援室」の協力を得て難民申請の支

援に乗り出した。ウガンダで彼女はLGB BTだという理由で営んでいたインテリアの店を破壊され、暴行を受けるなどの迫害を受けた。来日当初はまったく日本語が話せず、仕事も見つからず、非常に苦勞した。最近ではコロナで求人がなく、差別もあって再就職もままならず、家賃も払うことができないほど生活に困窮していた。

難民の理由はじつに多種

共の会にはアフリカ出身者の相談が非常に多い。本人ではなく民族的な対立のため両親を殺さ

の意味、②いのちの意味、③価値、④孤独、⑤限界、⑥罪悪感、⑦死・死後の不安であり、「自分自身の存在意義を追求している」と語った。

「人は神によって創られ、命の息(spirit)を吹込まれ、生きるものとなった存在beである」ところが人が大きな病気になる、社会の中で、精神的にも、人としての存在意味や価値観にぶつかったとき、それによって生じる痛み・苦しみ・辛さなどを、スピリチュアルペイン(たましいの痛み)という。これはほぼ誰もが体験することだ。

死に直面している患者との関わりを通して、牧師に問われたスピリチュアルペインは、①苦しみの意味、②いのちの意味、③価値、④孤独、⑤限界、⑥罪悪感、⑦死・死後の不安であり、「自分自身の存在意義を追求している」と語った。

「超える存在の視点からのケアである。それは、いのち・存在の尊さが「大きなものに包まれていられる・守られている・生かされている・任せる」との思いや心で共に存在beすることである。

これらの関わりは、自分にも限界があることを認め、謙遜にそのときを共有することが大切だと、体験談を交えて藤井牧師は語った。

その関わり方の一つは水平/ヨコ関係である。この、人と関わる信頼関係のケアは、聴くことと寄り添うことだ。何かを提供することではなく、そこに座り、その人の気持ちに寄り添うことが大事なことだ。

もう一つの関わり方は垂直/タテ関係で、人を

の理由はさまざま。同性間の性的関係に死刑が適用される国もある。難民申請の理由は人それぞれで、今の日本の私たちの価値観ではなかなか想像できないこともある。

街で見かける外国人でも、仮放免の人、技能実習生、就学生など、問題を抱えた人たちが大勢いる。その人たちに関心をもち、理解することが大きな支援につながるのではないだろうか。

共の会の働き

名古屋教区難民移住移動者委員会には教会司牧、社会司牧、船員司牧の三つの活動があり、「共の会」は社会司牧の一環として在住外国人の相談

ヘイトクライムをなくそう 全国で連帯して

外キ協全国会議

外キ協(外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会)主催による第37回全国協議会が1月26・27日、在日大韓基督教教会川崎教会を会場に開かれた。テーマは「ヘイトクライムと闘い、21世紀移民社会の宣教課題を考える」。

ヘイトスピーチとたたかう川崎

在日コリアンの多く住む川崎市では2013年から耳を覆いたくなるようなヘイトスピーチが繰り返されたが、その人権侵犯被害の訴えが国会に届き、16年にヘイトスピーチ解消法が成立。ヘイトスピーチ、ヘイトクライムは警察が取り締まるようになった。

難民支援も課題

二日目は、まず富坂キリスト教センター主事・岡田仁さんによる聖書研究から始まった。

アルペンなんみんセンターはカトリック東京教区外国人支援センターCTICの元スタッフが鎌倉市のイエズス会修道院を借り受けて開いた難民支援施設だ。スタッフの松浦由佳さんが「難民申請者・仮放免者の苦境と私たちの課題」を報告した。

初日は開会礼拝の後、地元川崎でのヘイトスピーチとの闘いの当事者だった川崎市ふれあい館館長・崔江以子さんから発題「川崎市反差別・人権条例と私たち」、外キ協事務局の基調報告「関

東大震災から100年、在日コリアン・移民・難民の現在」、NPO法人在日外国人教育生活相談センター信愛塾センター長・竹川真理子さんから「信愛塾の子どもたちは今」、同塾理事・大石文雄さんから「群馬県の国籍条項撤廃延期に抗議の声を」、川崎教会名誉長老・宋富子さんに名譽証し「在日は平和の使者である」、映画監督・金聖雄さんによる映画上映と話「ハルモニふたつの物語」などが紹介された。

「マイノリティ宣教センター」結成から5年、そして「これからは」と題する発題を同センター共同主事・デイビッド・マッキントッシュさんが行い、外キ協の23年活動計画な

どを全体で話し合った。最後に証しと閉会の祈りを、外キ協共同代表でも交えて、難民・移民に寄り添うキリスト教信仰についてあたたかいメッセージを残した。

えいごで聖句ドリル解答

A=① I=⑤

四旬節第5主日(3月26日)の福音書のみことばです。日本語の「復活」にあたる英語には、revival、rebirthなどありますが、イエス・キリストの復活を表す語はresurrectionであり、とくに大文字を定冠詞をつけて「the Resurrection」とすれば、「キリストの復活」あるいは「最後の審判の日のすべての人の復活」を意味します。

余裕のある人は続く言葉もいっしょにあじわいましょう。believe in(～を信じる)、die(死ぬ)、live(生きる)という基本的でしかし重要な語句で書かれています。

whoever believes in me, even if he dies, will live, and everyone who lives and believes in me will never die. (John 11: 25-26) わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。(ヨハネ 11: 25-26)

1カ月に日曜日(主日)のミサは4~5回ありますが、そのとき朗読される福音書の言葉の中から、やさしいけど心に残る言葉を選んで、英語で紹介し、日本語とは一味違った味わいがありますよ。

新刊書紹介

トウニカ トナカ イエスの聖衣とフランシスコの僧衣

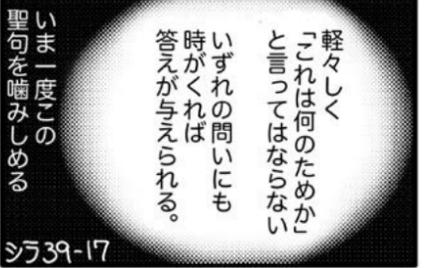
著者 エンツォ・フォルトゥナート (コンベンツァル聖フランシスコ修道会司祭) 訳者 太田 綾子 女子パウロ会 発行 1,760円(税込)



十字架上で裸のイエスが私たちに残してくれた「一枚の布として織られ」裂かれなかった聖衣こそが、主に徹底して従いたいフランシスコに、雑ぎはぎだらけの粗末な僧衣を大喜びで着させる理由だった。

著者は遺物を始め、多くの史料・文献等を基に、本性を深く証しする聖衣と僧衣の、真の意味・象徴・類似点等を解明。私たちも、生き方の本質に関わる「着る服の選択」を求められている。

野内倫昭司教が行った。山野内司教はアルゼンチンに移住した自身の体験も交えて、難民・移民に寄り添うキリスト教信仰についてあたたかいメッセージを残した。



3月の教会暦

5日(日) 四旬節第2主日
10日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日
12日(日) 四旬節第3主日
17日(金) 日本の信徒発見の聖母(祝)
19日(日) 四旬節第4主日
20日(月) 聖ヨセフ(祭)
21日(火) 祝名古屋教区司教座聖堂献堂記念日
25日(土) 神のお告げ(祭)
26日(日) 四旬節第5主日

4月の主な教会暦(主日・祭日など)

2日(日) 受難の主日(枝の主日)
6日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
7日(金) 聖金曜日(主の受難)
8日(土) 聖土曜日
9日(日) 復活の主日(祭)
16日(日) 復活節第2主日
23日(日) 復活節第3主日
30日(日) 復活節第4主日
世界召命祈願の日

教区行事予定 (* 松浦司教)

3月
5日(日) 一宮教会聖信式*
7日(火) 難民移住移動者委員会
10日(金) 正義と平和委定例会
11日(土) 殉教者委定例会/典礼委員会
会コアミーティング/信徒協役員会
12日(日) 安城教会聖信式*/三河B会議/城南B会議

3月

9日(木) 常任司教委員会
18日(土) 助祭・司祭叙階式(神言修道会)
20日(月) 南山学園評議員会

教区行事以外の松浦司教予定

30日(日) 殉教者祭(金沢・卯辰山) 愛岐B兄弟の集い
22日(土) 典礼委員会コアミーティング
20日(木) 教区顧問会*
18日(火) カトリック看護協会例会
16日(日) 愛岐B会議
15日(土) マリエ「名古屋クリア」
14日(金) 正義と平和委定例会
12日(水) カリタス福祉委員会
11日(火) 樹の会
8日(土) 難民移住移動者委員会
5日(水) 聖香油ミサ(含、ダイヤモンド金銀祝、終身助祭候補者の朗読奉仕者選任式)*
信徒協役員会

4月

14日(火) 樹の会/カトリック看護協会例会/布池外語専門学校卒業式*
15日(水) カリタス福祉委員会
16日(木) 月集*
18日(土) レジオ・マリエ「アチエス」
19日(日) 助祭・司祭候補者認定式(東山)*
23日(木) 教区顧問会*
25日(土) 教区法人評議員会*/修女連總會*/障害者の黙想会

4月

5日(水) 聖香油ミサ(含、ダイヤモンド金銀祝、終身助祭候補者の朗読奉仕者選任式)*
8日(土) 信徒協役員会
11日(火) 難民移住移動者委員会
12日(水) カリタス福祉委員会
14日(金) 正義と平和委定例会
15日(土) 殉教者委定例会/レジオ・マリエ「名古屋クリア」
16日(日) 愛岐B会議
18日(火) カトリック看護協会例会
20日(木) 教区顧問会*
22日(土) 典礼委員会コアミーティング
30日(日) 殉教者祭(金沢・卯辰山) 愛岐B兄弟の集い

告知板

13日(木) 常任司教委員会

4月

3月の炊き出し
木2日布池、9日南山・樹の会、16日聖霊・南山・樹の会、23日城北橋、30日一宮
金3日喜望の会、10日布池、17日A・J・U・恵方町、24日長浦、31日南山

建設費の返済に協力を

652件 34,842,185円
目標額 40,000,000円 (2023年1月末現在)

達成率 約87.1%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

▼聖パウロ書院よりお知らせ
平素より名古屋聖パウロ書院をご利用いただきましてありがとうございます。書院整理作業のため、3月29日(水)〜3月31日(金)はお休みさせていただきます。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご容赦くださいますようお願いいたします。《復活祭、洗礼の祝いなどは、お早目にご準備ください》

四旬節愛の献金 四旬節中

キリストを信じるすべての人が四旬節の精神をよく理解して、回心と愛のわざに励むようにとの教皇の呼びかけに
応えて、日本の教会は、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危機にさらされている人たちの共感を大切に
するよう訴えとともに、四旬節中の「愛の献金」を奨励している。

「愛の献金」は、カリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、難民、孤児、貧困・失業・飢餓などに苦しむ人々のいのちを守るため、また彼らの自立を助けるために使われる。

性虐待被害者のための祈りと償いの日 四旬節第2金曜日 (3月10日)

2016年に教皇フランシスコは、子どもに対して教会のメンバーが犯した罪の責任についてしっかり意識できるよう神により頼む日として「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けることを全世界の司教団に通達した。

日本の教会は、四旬節第2金曜日をこの日に定め、祈りと償いの、そして被害者の痛みを学ぶ機会としている。教会のメンバーが犯した罪を公に認め、共同体として神のゆるしを願い、被害者とその家族のために毎年祈りをささげている。

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたって 日本カトリック司教協議会会長 菊地功大司教呼びかけ

3月10日の「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたって「ともに祈りましょう」と、司教協議会会長の菊地大司教が日本のカトリック信者に呼びかけている。

2月17日付の呼びかけ文(およそ1300字)のしめくくりを紹介する。

「無関心や隠蔽も含め、教会の罪を心から謝罪いたします。神のいつくしみの手による癒やしによって被害を受けた方々が包まれますように、心から祈ります。同時に、わたしたち聖職者がふさわしく務めを果たすことができるように、お祈りくださいますようお願いいたします。

どうぞ、四旬節第二金曜日に、またはその近くの主日に、教皇様の意向に合わせ、司教団とともに、祈りをささげてくださいますようお願いいたします」

第35回 名古屋教区障害者連絡会 四旬節黙想会のご案内

～障害を持つ人々と共に～

テーマ 神の「笑顔」を求めて 一聖書全体にわたって一日 時 3月25日(土) 9:45~16:00
会場 南山教会マリア館2F ホール 名古屋市昭和区南山町2 電話 052-831-9131 (要約筆記・手話通訳あり)
指導司祭 松田清四朗神父(コンベンツァル聖フランシスコ修道会)
参加費 無料(昼食として弁当を用意します。希望者は申込みを。500円)
問合せ カリタス福祉委員会・教区障害者連絡会(052-852-1426)
主催 名古屋教区障害者連絡会、カリタス福祉委員会
*詳細は第77号会報をご覧ください。
新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止もあり。参加者は各自予防対策を。

聖霊会 聖霊修道院主催 「New 賛美の集い2022」

み言葉とテゼの歌、美しい音楽を聞きながら、日常の雑音から少し離れてみませんか。

日時 3月18日(土) 19:00~20:00
参加費 無料。前もっての申し込みは必要ありません。

聖霊会 ラビリンスメディテーション (3面に紹介記事)

日時 3月25日(土) 13:30~16:30
参加費 200円

場所 聖霊ミッションセンター 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1 地下鉄名城線八事日赤病院1番出口を出て右方向へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し門へ。徒歩5分。
問合せ 聖霊修道院 電話 052-832-0434

神言修道会 助祭および司祭叙階式

神言修道会の3人の終生誓願神学生の助祭叙階式および2人の助祭の司祭叙階式が下記の通り行われます。新型コロナウイルスの影響で一般参加はできませんが、インターネットでのライブ配信が行われます。お祈りをお願いいたします。

日時 3月18日(土) 午後2時
会場 南山教会
司式 松浦悟郎司教
ライブ配信 『SVD Japan TV』(YouTube) <https://tinyurl.com/49effka8>

助祭受階者 ウィルフリード・リンガアマ・クロメン
ファビウス・ジョン・モネ・セラ
ジョセフ・シジョ・コッラピッル
司祭受階者 アンデレ・トルウン・ゴー・ホーム
傍島 義雄

緊急署名 「難民を虐げ、在留資格のない人の命を危うくする、入管法改悪に反対します！」にご協力ください

スリランカ女性のウイシュマさんが名古屋入管で亡くなるという悲惨な事件を受けて2021年には廃案になった入管法案と、ほぼ同内容の法案を政府が国会に出そうとしている。これに対して、日本カトリック難民移住移動者委員会を含む「STOP!長期収容」市民ネットワークに参加する7団体は1月17日、再提出に反対し、難民、移民の人たちのいのちと尊厳が守られる社会の実現を求める声明を発表するとともに、1月27日から緊急署名を呼びかけている。1次締切は2月末だが、3月末に2次締切となっている。

カトリック中央協議会ホームページから署名用紙もダウンロードできるほか、オンライン署名を選ぶこともできる。